



みんなで知恵をだしあおう 古代から未来への道

京奈和自動車道

第6号

「大和北道路」

大和北道路有識者委員会では、PIプロセスを導入し、みなさまのさまざまなご意見をお聞きしながら17回の審議を重ね、大和北道路の推奨すべき道路整備の計画案に関して「提言」をまとめました



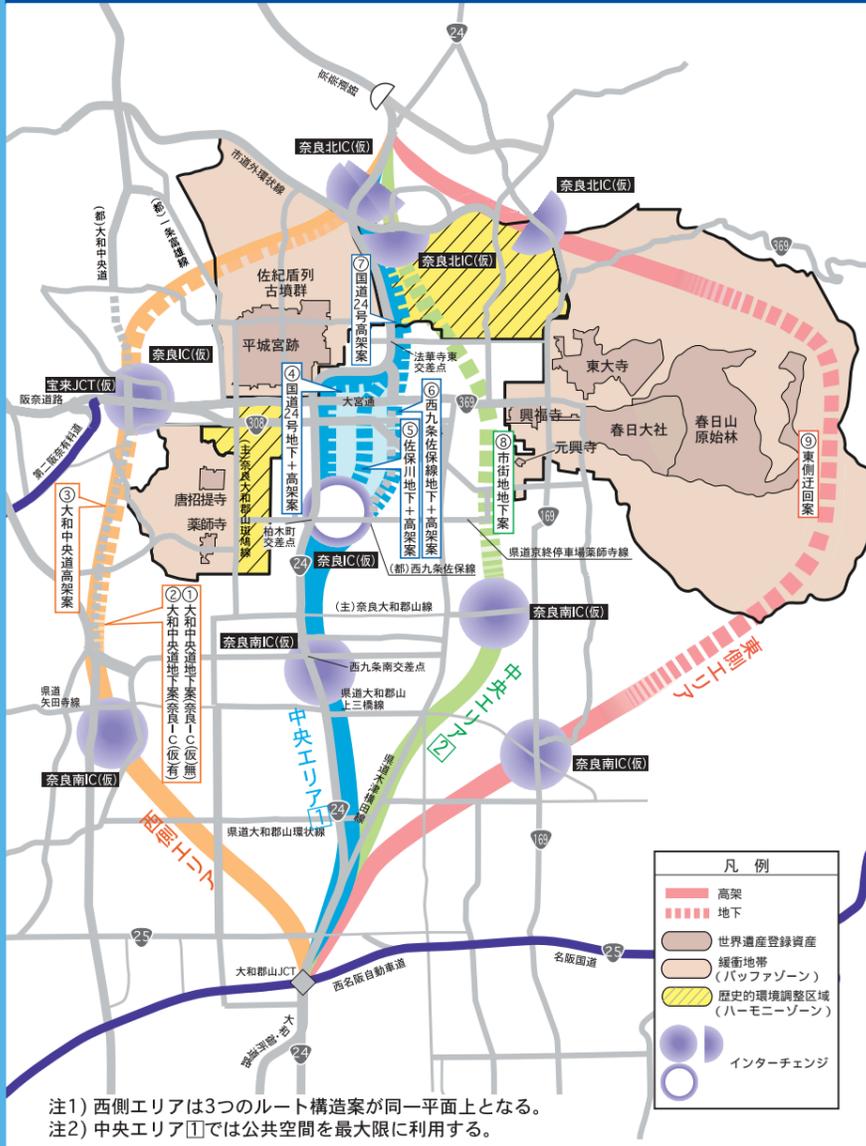
京奈和自動車道「大和北道路」とは

大和北道路は、京都市～和歌山市間をつなぐ京奈和自動車道の一部で、京都市との境から西名阪自動車道の区間の名称です。

大和北道路の計画化に向けての本委員会の推奨案をご報告します

大和北道路のルート・構造に関する選択案を総合的に評価した結果、「中央エリア①」の「西九条佐保線地下+高架案」および「国道24号地下+高架案」を適したルートとして推奨しました。さらに、このうち平城宮跡からの離隔距離が長い「西九条佐保線地下+高架案」がより優位性を有すると提言しました。

大和北道路有識者委員会で検討したルート・構造案



各エリアの概要とルート・構造の選択案		
エリア名	エリアの概要	ルート・構造の選択案
西側エリア	都市計画決定されている大和中央道に沿って住居専用地域を通過する西側に迂回させたルート案	①大和中央道地下案(奈良IC無) ②大和中央道地下案(奈良IC有) ③大和中央道高架案
中央エリア①	奈良市中心市街地の西側を通過する最も直線上に近いルート案	④国道24号地下+高架案 ⑤佐保川地下+高架案 ⑥西九条佐保線地下+高架案 ⑦国道24号高架案
中央エリア②	奈良市中心市街地を地下トンネルで通過する部分地下構造案	⑧市街地地下案
東側エリア	奈良市中心市街地の東部を長大な山岳トンネルで通過し、世界遺産である春日山原始林の直下を避けるため東側を大きく迂回させたルート	⑨東側迂回案
大和北道路を整備しない場合の対策案		国道24号の主要渋滞箇所を立体交差にするなど一般道路を改良する案

問い合わせ先

大和北道路有識者委員会

〒630-8115 奈良市大宮町3-5-11 <http://www.kkr.mlit.go.jp/nara/>

事務局/国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所 調査第二課内 TEL.0742-33-1391(代)

大和北道路有識者委員会が提言した推奨ルート

大和北道路有識者委員会でまとめた提言「VI章-1」を記載します。

(1) 大和北道路のルート・構造に関する選択案を総合的に評価した結果、本委員会は交通機能面で最も優れている「中央エリアⅡ」を大和北道路が通過する最適なエリアであると判断し、同エリアを通過するルート・構造案のうち、IV-3で述べた「景観に関する基本的な考え方」に抵触する可能性が高い「全区間を高架とする」構造案を除く「地下+高架」構造案を大和北道路に適した道路構造として推奨する。このうち地下構造にあたる部分は、地表道路との接続部分などやむを得ない場合を除き、地下水への影響を抑制するため、適切な深度を確保した地下においてシールド工法を用いて建設するものとする。

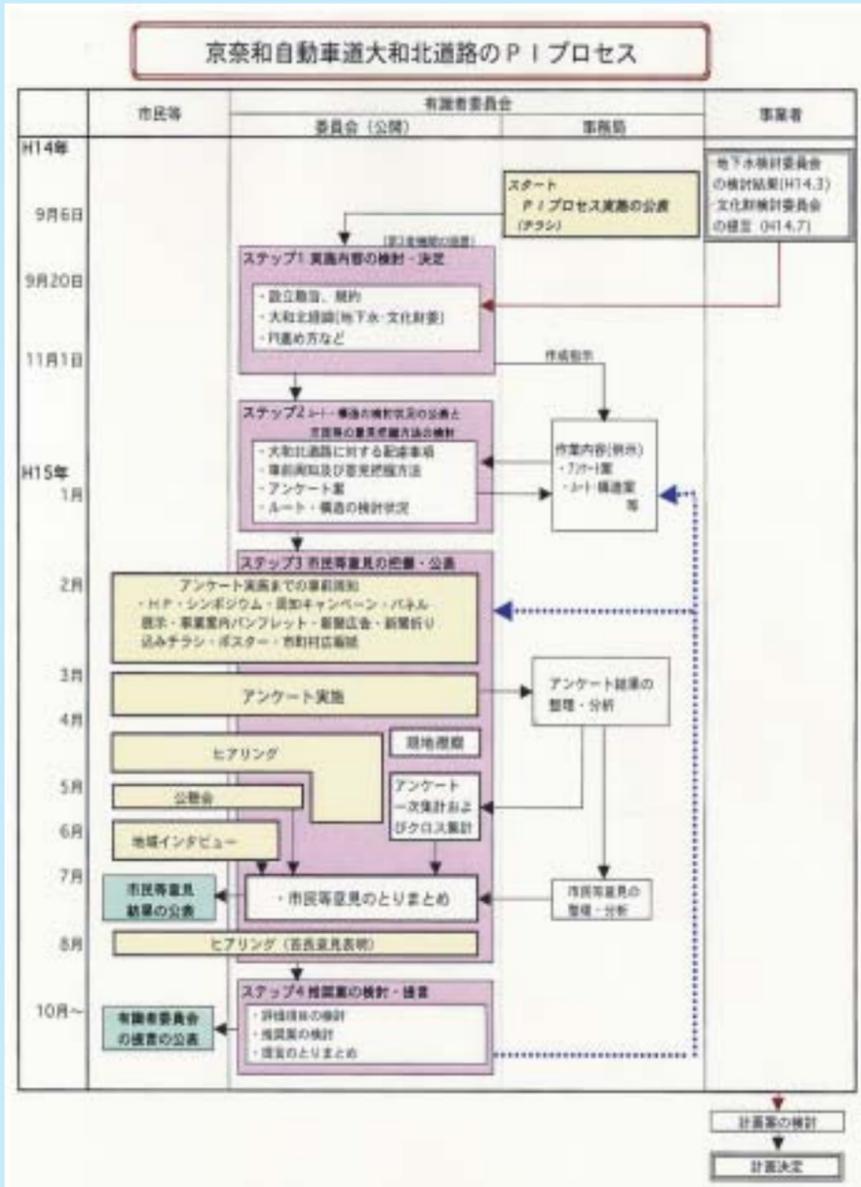
(2) 「中央エリアⅡ」を「地下+高架」構造で通過する3種類のルートについて、交通機能面から見た整備効果や埋蔵文化財・古都奈良の歴史的景観および建設に伴う地域の影響などの配慮事項を更に総合的に評価した結果、「西九条佐保線地下+高架案」および「国道24号地下+高架案」を大和北道路に適したルートとして推奨する。さらに、この両案を詳細に比較すると、「西九条佐保線地下+高架案」は、平城宮跡の南東部を通過する部分で「国道24号地下+高架案」に比べ平城宮跡からの離隔距離がかなり長い(約900メートル)ため、本委員会の配慮事項や文化財検討委員会の提言に対する適合性が一段と高く、そ

の点でより優位性を有する。

一方、「佐保川地下+高架案」は、交通機能面の評価が上述の両案に比べてやや低いことに加え、歴史的な意義を有する佐保川の景観を損ない、かつかなり長い距離にわたり河川の地下を利用することによる河川管理上の調整問題等を生じさせる可能性があるため、推奨案としてとりあげるには劣位であると判断される。

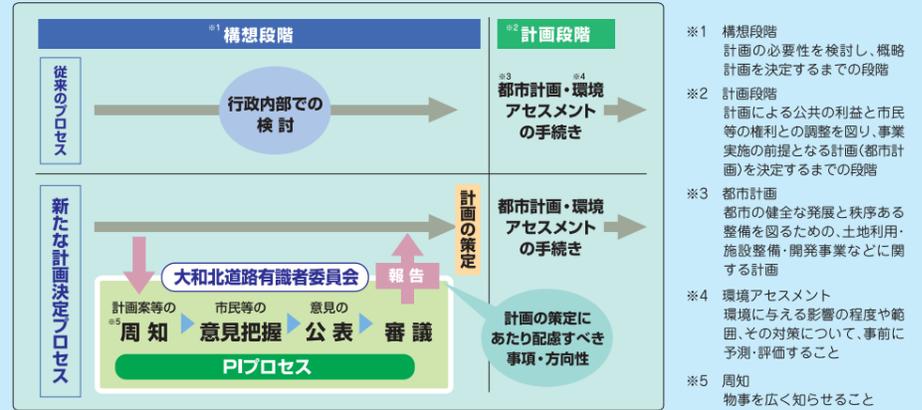
(3) 本委員会が推奨するルートは、平城宮跡の東部～北東部を通過する部分で世界遺産条約が定める緩衝地帯(バッファゾーン)を通過するものの、通過場所は緩衝地帯と歴史的環境調整区域(ハーモニーゾーン)の境界線に沿った線状の空間である。また平城宮跡の南東部を通過する部分においても、推奨ルートはいずれも緩衝地帯の通過を避けることができる。従って推奨ルートは、文化財検討委員会の「緩衝地帯(バッファゾーン)においても出来る限り離隔をとって行われることが望ましい」とする提言の内容に符合するとみることができる。

大和北道路有識者委員会PIプロセスのこれまでの流れ



PI (Public Involvement) プロセスとは

計画の段階から情報公開や意見聴取などを積極的に行い、検討過程に第三者機関が関わることで、透明性、客観性を向上し、公正さを確保する計画の進め方です。



意見把握のためにとりくんできた活動

・シンポジウム、PIプロセスキャンペーン、アンケート、公聴会、ヒアリング、インタビュー



PIプロセスにおける情報公開

・チラシ、事業パンフ、ポスター、新聞広告、広報紙、パネル展示、ホームページ



○ヒアリング (9分野 15名)

- ・1回目: 平成15年 3月16日
- ・2回目: 平成15年 3月28日
- ・3回目: 平成15年 4月25日
- ・4回目: 平成15年 5月16日
- ・5回目: 平成15年 5月30日
- ・6回目: 平成15年 8月 5日

○インタビュー

- ・1回目: 平成15年 5月27日 (大和郡山市の自治会、PTA等の10名の方々)
- ・2回目: 平成15年 6月30日 (奈良市の自治会、PTA等の12名の方々)

○シンポジウム

- ・平成15年 2月16日 (奈良県新公会堂)

○公聴会 (14名)

- ・平成15年 5月10日 (奈良県新公会堂)

○PI周知キャンペーン

- ・1回目: 平成15年 3月7日 (やまと郡山城ホール)
- ・2回目: 平成15年 3月8日 (奈良市西部会館学園前ホール)
- ・3回目: 平成15年 3月10日 (なら100年会館)

○アンケート

- ・対象数: 5,400
- ・有効回答数: 4,070
- ・対象エリア: 奈良県、京都府南部、和歌山県北部、大阪府
- ・期間: 平成15年 3月8日～4月16日

大和北道路有識者委員会が実施したPIプロセスにおいて、多くのご意見をお寄せいただいたみなさま、ありがとうございました。



ホームページでも、情報を公開しています。

奈良国道事務所のホームページ内に、京奈和自動車道に関する情報と、17回にわたる大和北道路有識者委員会の議事要旨、委員会資料、及び提言をまとめたサイトがあります。

詳しくお知りになりたい方はご覧ください。 <http://www.kkr.mlit.go.jp/nara/>